

## 令和元年度第2回政策会議概要

- 1 開催日時：令和元年5月9日（木）9:10～9:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 コンプライアンスの取組について

#### ●喜多副部長兼コンプライアンス総括監

4月24日の共通幹事会でも各部局に周知徹底をお願いしたが、情報公開制度における開示請求者の個人情報の適切な取扱いについて、戦略企画部情報公開課から通知文書が出ている。職員のコンプライアンスの意識を向上させ、不適切な事務処理等を防止するためには、あらゆる機会を通じて継続的に何度も呼びかけることが必要になるので、改めて職員に周知徹底をお願いしたい。

#### ●竹尾コンプライアンス・労使協働推進監（資料1に基づき説明）

総務部コンプライアンス総括監を座長とする「コンプライアンス推進会議」について、所掌事務を「コンプライアンス推進に係る取組の進捗管理」に変更する。また、「推進会議」と「拡大会議」を統合し、「推進会議」に一本化することとし、5月17日に第1回の会議を開催する。

職員一人ひとりの意識の向上のため、知事と本庁次長級以上の職員との個別面談を実施するなど、知事と職員との対話の機会を増やしていく。メルマガについては、今年度は内容をコンプライアンスの推進に特化して配信する。

#### ☆鈴木知事

本庁次長級以上の職員との個別面談の話があったが、取組はこれだけではない。対話を進めることで「挑戦する風土・学習する組織」をしっかりと作り上げていきたいと考えている。

### 議題2 「県民の声を受けて」公表分の概要及び平成30年度「県民の声を受けて」年間概要について

#### ●福永戦略企画部長（資料2に基づき説明）

4月1日及び4月16日に県のWeb（ウェブ）で公表した県民の声の件数は17件で、うち6件は複数所属で対応しており、対応件数は26件となっている。

主な内容としては、県民の声を受けて実施した案件で、業務の改善等へ反映したものが2件あった。

続いて、平成30年度に県のWebで公表した県民の声の件数は291件で、県の対応件数は323件となっている。

主な内容としては、職員に関するものとして、職員の勤務・応対等に関する意見、苦情等が29件あった。

多数寄せられた声については、議会に関するものが56件と多いのが特徴的である。

30年度の年間公表件数323件は、前年度よりも30件ほど増えているが、直近5年の中では少ない方である。これは、27年度の熊の放獣やサミット決定、28年度の県庁舎内の禁煙やサミット実施などのような、大きなトピックス的な案件がなかったことが理由と思われる。

県民の皆様からの声は、県政発展のための貴重な情報であり、今年度も引き続き政策会議において報告させていただく。

各部局におかれては、その「声」をふまえて適切に対応いただくようお願いする。

(質疑等なし)